

教職センターだより

2018年4月27日 第1号
相模女子大学教職センター発行

新たな展望を切り拓く1年に

教職センター長 吉岡日三雄

教職センターを開設して3年目を迎えました。今では、教員や保育士を目指す多くの学生が教職センターを利用してくれています。開設以来、日常の相談・指導をはじめ、「採用試験対策講座」「交流・連携授業」など様々な事業に取り組んできました。特に、教員・保育士を目指す学生を対象にした「採用試験対策講座」は、教職センターの重要な事業としてセンター教員・指導員だけではなく、教職課程に関係する学科の先生たちのご協力・ご支援を得て推進してまいりました。本年度の春学期も26講座に約120名の学生が申し込みをしています。

このように、教職センター事業の成果も見られますが、2年間の運営を通して教職センターとしての課題もみられるようになってきました。組織上の課題として、本学における教職センターの位置づけ、人材を確保する上での指導員の身分や雇用のあり方、財政上の課題、施設・設備上の課題など、実際に事業を円滑に運営していく上で解決しなければならない様々な問題が生じてきました。

そのため、教職センターの「今ある姿」を踏まえ、「これからあるべき姿」を見据えた「教職センターあり方検討委員会」を今年度新たに発足しました。委員には、センター専任教員や兼任教員にお願いをし、すでに2回の会議を開催しました。その協議の中で、できるだけ早急に解決しなければならない課題と将来を展望して時間をかけて検討しなければならない課題に分け、今後継続して審議していくことにしています。検討委員会でまとめたものは、学長に提言することにしています。

教職センターの成果と課題を明らかにしながら、学生にとってどんなセンターであれば良いのか、また、本学の特色ある組織として今後もその機能の充実を図り、本来どのような役割を担っていかなければならないのか、これから教職センターのあるべき姿を切り拓く新たな1年にしたいと思っています。本年度も皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。



平成30年度の活動が始まります

平成30年度が始まり、教職センターにも多くの学生が訪れています。教員採用試験の情報収集、面接練習の依頼、論作文の添削、模擬試験の申込み、ボランティアの応募、センター講座の受講等、ニーズは多岐に渡っています。4/17からは各自治体の教員採用試験や教師塾の説明会も行われています。



教職センター業務の紹介①(このようなことをやっています)

<設置の目的>

教職センターは、教育課程運営に関する全学的な業務を統括し、教員養成教育の整備・充実を図り、優秀な教員の輩出に努めることを目的とする。(相模女子大学教職センター規程 第2条)

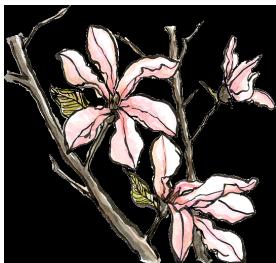
I 予算・年度計画・業務改善

- 1 業務報告書
- 2 予算及び人事計画
- 3 各種規程・規則の見直し等
- 4 文部科学省の教育施策の分析、研究
- 5 教職センターの運営
- 6 その他教職センターの目的を達するための業務



II 根幹業務

- 1 教員採用試験・公立幼・保・学校栄養職員対策講座担当及び事務
- 2 教員採用試験・公立幼・保・学校栄養職員自治体採用試験等の日常的な指導・相談・支援



III 行事企画・運営（交流事業）

- 1 教員・保育士採用試験対策のための合宿講座
- 2 教員・保育士として働く卒業生との交流会
- 3 当該年度採用試験受験者と在学生の交流会
- 4 文部科学省の教育施策の分析、研究
- 5 教職センターの運営
- 6 その他教職センターの目的を達するための業務

IV 委員会・会議

- 1 教職センター運営委員会の日程調整・運営・資料準備等
- 2 教職センターハイブリッド会議の運営・資料準備・記録
- 3 併設各部担当者会議の日程調整・運営・資料準備・記録
- 4 教職センター「今後のあり方」検討委員会の日程調整・運営・記録

V 大学推薦・説明会

- 1 都・県・市・政令指定都市等の教員採用選考大学推薦者の学内選考事務
- 2 都・県・市・政令指定都市等の教育委員会による候補者選考試験説明会の実施
- 3 県・政令指定都市等の教師塾説明会の実施・選考・手続き事務
- 4 市町村・政令指定都市等の公立幼保自治体職員等の紹介

